

2022年3月16日
西日本旅客鉄道株式会社

うめきた（大阪）駅がさらに進化します 地下駅と地上部での新駅ビルを共創フィールドとした新たな価値創造への挑戦 ～『JR WEST LABO』始動～

JR西日本では「うめきた（大阪）地下駅」の建設工事を進めており、2023年春の開業まで、いよいよ1年程度となりました。地下駅の直上では、「みどり」と「イノベーション」の融合拠点となる「うめきた2期エリア」の玄関口として新駅ビルが誕生予定であり、地上・地下あわせた「うめきた（大阪）駅」は、地区全体の更なる価値向上に寄与します。

これまで、「JR西日本技術ビジョン」の具体化に挑戦する駅と位置づけ様々な実証実験を行ってまいりましたが、このたび、「うめきた（大阪）駅」をイノベーションの実験場『JR WEST LABO』の中心と位置づけ、様々なパートナーと共創することでオープンイノベーションを加速させていきたいと考えています。

『JR WEST LABO』での共創により、新たな価値創造を推進するとともに、経営課題や社会課題を解決する最先端の技術を社会に発信し続け、脱炭素社会の実現、SDGsの達成に貢献してまいります。

1. 『JR WEST LABO』とは

(1) 目指す姿

- デジタル×リアルが生み出す新たな価値の提供
 - ・駅の強みであるリアルの拠点性を活かし、OMO やバーチャル空間等の接点を組み合わせることで、駅を中心としたデジタルとリアルが融合する空間を創出し、お客様体験の向上に繋がる新たな価値を提供しつづける
- 人と技術が融合し、誰もが参画し活躍できるフィールド整備
 - ・イノベーションによるロボットやアバター等の技術を活用することで多様な人材が活躍できるフィールドを整備し、誰もが生き生きと働くことができる社会を実現
- お客様と共に進める環境負荷軽減の取組み推進
 - ・お客様と価値を共有しながら進める、省エネルギーや緑化といった CO2 排出削減をはじめとする地球環境保護への貢献

『JR WEST LABO』で創出する新しい体験のひとつひとつが連続的に、一連のサービスとして実感いただける、他にはない近未来の空間を、まずはうめきた（大阪）駅で実現します

→ イメージムービー：<https://youtu.be/Sp-fXJWjgww>

(2) イメージイラスト

JR WEST LABO Innovative Station Field



※掲載画像はイメージです。

2. 『JR WEST LABO』における共創

『JR WEST LABO』では目指す姿の実現に向け、「イノベーションの実験場」として様々なパートナーとの共創により、新たな価値創造にチャレンジします。『JR WEST LABO』のフィールドにおいて当社グループのアセットを活用した実証実験を希望するパートナーを募集します。

【例】

- 「駅コンコースや駅周辺施設を活用した新たな体験の実証実験」など、実験フィールドとしての活用
 - JR WEST LABO の目指す姿の実現に寄与する実証実験
 - ・ デジタル技術を活用し、移動拠点の駅に「集う」「交流する」場としての価値を創出
 - ・ 誰もが働く時間や場所にとられない多様な就業機会の創出
 - ・ お客様に環境負荷軽減につながる行動を促すサービスの創出
- 等

詳しくは以下までお問合せください。

共創に関するお問い合わせ先 : 鉄道本部 イノベーション本部 うめきた PT : jr-west-labo@westjr.co.jp

※この取組みの一部を、大阪・関西万博の参加型プログラムである「TEAM EXPO 2025」プログラムへ申請します。

3. 「うめきた（大阪）駅」の概要

『JR WEST LABO』の中心地となる「うめきた（大阪）駅」は、以下の通り計画を進めています。

(1) 地下部分

地下部分では、「JR 西日本技術ビジョン」の具体化に挑戦する未来駅として、「『あなた』が笑顔になる駅」をコンセプトにデジタル技術を活用したインタラクティブな空間や、One to One のデジタル案内、フルスクリーンホームドアなど、様々な技術やサービスを新たに導入します。詳しい内容は、改めてお知らせします。

【開業時期】 2023 年春

【イメージパース】

（コンコース階）



（ホーム階）



(2) 地上部分

地下駅直上部では、大阪駅周辺のターミナル機能を向上させる駅前広場を整備します。また、駅前広場の隣接部には、うめきた 2 期のまちづくり方針として掲げる『「みどり」と「イノベーション」の融合拠点』と一体となった、みどり豊かな新駅ビルが誕生します。併せて、JR 大阪駅方面とうめきた 2 期地区を連絡デッキで結ぶことで、うめきた 2 期エリアの玄関口として、回遊性の向上や賑わいの創出に貢献してまいります。

○計画概要

【 規 模 】 敷地面積：約 12,500 m²、
ビル：地上 3 階（うち店舗面積 約 3,750 m²）

【駅前広場主要用途】 観光バス・タクシー乗降場等

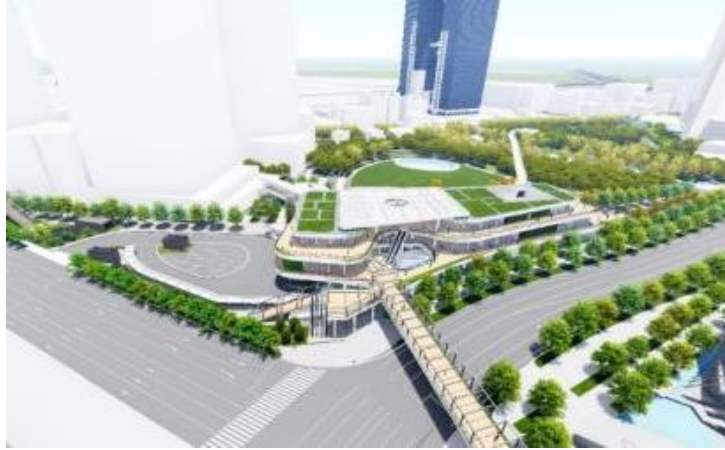
【ビル主 要 用 途】 歩行者広場、商業施設、連絡デッキなど

【 開 業 時 期 】 2024 年夏頃 一部供用開始（駅前広場・連絡デッキ等）
2025 年春頃 全面開業（商業施設含む）

【 建 物 設 置 者 】 JR 西日本不動産開発株式会社

【 商 業 施 設 運 営 者 】 JR 西日本大阪開発株式会社

【外 観 イメージ】
(大阪ステーションシティ ノースゲートビル側より)



※関係者協議により、今後変更となる可能性があります。

今回のご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に2番、3番、7番、8番、9番、11番、12番、13番、17番に貢献するものと考えています。

